

(7) 宝塚の多くの学校園で学んでいる教材

この一覧表は宝塚の多くの学校や幼稚園で使用されている部落問題学習教材やその素地となる学習教材です。年間カリキュラムに取り入れられ、ブロック研や人権参観日の保育・授業によく扱われています。部落問題（差別）を教えないで義務教育を終えさせることは子どもたちに豊かな未来を保障しないことになります。また、2016年の「部落差別の解消の推進に関する法律」でも「部落差別を解消するため、必要な教育を行うよう」と規定しています。これらの教材を道徳の時間を中心に社会科・国語・総合的な学習の時間などの年間カリキュラムに計画的に組み入れたいものです。時間配分や授業の展開は学校園全体で考えましょう。出典はどの作品も複数の出版社があります。読み比べて子どもの発達段階に合わせて選んでみましょう。投げ入れ的に使う場合はカラー印刷や映像の利用が効果的です。

部落問題学習教材	学 年	その素地となる教材と学習
地域探検 解放文化祭への参加と見学	幼稚園	スイミー 泣いた赤鬼 あのかつとむくん てぶくろ ともだちほしいな おおかみくん モチモチの木 おたまさんのおかいさん かおかお どんなかお
公園に出かけよう 解放文化祭見学 (全学年)	小学1年	はしのうえのおおかみ(教科書) 〔一本のはし〕(なかま) となりのためき(ほほえみ) ないとこまるもの(ほほえみ) ようこそどうぶつむらへ(ともだち) ひとりぼっちのライオン(にんげん) だれのをさきにしようかな(文芸堂)
町のたんけん 昔遊び	小学2年	からすのおおさま(ともだち) ちっともおもしろくない(ほほえみ) ぞうくんのめがね(ともだち) あだな(ともだち) だめだめネコはこまったゾウ(絵本)
橋(ともだち) 人権文化センター見学	小学3年	島ひきおに(絵本) いっぺんどなったらか(なかま) だいこんとにんじん(ほほえみ) 町のたから(ほほえみ) 大きい子に言えた(ともだち) とくちゃんたちのなかま(にんげん)
半日村(ほ) ざるにはざるを(大分県) ギロン星人の怒り(大阪人権協) わたしたちができたこと(ポリバケツ話)(地域)	小学4年	いさむ君だけが(友だち) かばん持ち(友だち) 花さき山(絵本)
みんな秋まつり(友だち) 町の石ひ(ほほえみ) ペロ出しチョンマ(絵本) 差別と迷信・うわさ・血液型占い	小学5年	わたしのせいじゃない(岩崎書店) 権利の木(ほほえみ)/権利の熱気球 しばてん(絵本) だからわるい(にんげん)
人の世に熱あれ、人間に光あれ(友だち) ひらがな日記/一字一字力をこめて(なかま) 渋染め一揆(にんげん) 百日かせぎ(ほほえみ) 七分の一の命(にんげん) 教科書は誰のもの?(地域教材/現在作成中)	小学6年	ともに生きる社会(友だち) わたしたちが主役(ほほえみ) ちがいのちがいの(県人権スキル)
識字学級「タやけが美しい」 人の値うち/招かれなかったお誕生日会 私の歩んだ道(地域教材)	中学1年	子どもの権利条約
部落差別の歴史(DVD等) 東山文化を支えた人々 現代医学を支えた人々 ネットの中に潜む差別	中学2年	世界人権宣言
就職差別「統一応募用紙」 結婚差別「祭りばやしが聞こえる」(きらめき) 社会問題「ゆきの選択」(にんげん)	中学3年	日本国憲法